

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	鈴木
	全体計画						経費区分		-		内線	3516
事務事業名	4210 除雪事業											
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課											
施 策	06033300 橋や道路整備の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	080202 土木費・道路橋梁費・道路維持費										
	事業	020000 除雪事業										
事業目的						事業概要・効果						
冬季における道路交通の確保を図り、市民生活と市内の産業・経済活動の安定に寄与するため、迅速かつ適切な除雪作業行う。						市内のバス路線・幹線道路の除雪を実施し、交通路線の安全確保、市民生活の安定と地域産業の振興に寄与する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
除雪路線の迅速な除雪、凍結防止剤散布、排雪事業の実施。	除雪路線の迅速な除雪、凍結防止剤散布、排雪事業の実施。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
除雪路線の迅速な除雪、凍結防止剤散布、排雪事業の実施。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		145,402	105,110
特定財源	国庫支出金	12,821	2,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	48,000
	その他	1,500	1,800
一般財源		131,081	53,310
人員数(人)	正規職員	1.0	0.9
	嘱託職員	0.3	0.3
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	7,219.0	6,497.1
	嘱託職員	826.5	826.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	8,045.5	7,323.6
市民一人当たりの経費		2.9	2.1
総額		153,447.5	112,433.6

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	26,830	消耗品費 燃料費 修繕料等
13節 委託費	109,589	除雪委託料等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	8,983	備品購入費

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	15,766	消耗品費 燃料費 修繕料等
13節 委託費	42,600	除雪委託料等
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	46,744	備品購入費等

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	必要な事業	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	年々除雪（路線）の要望が増加している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	高齢化等で市民要望増加し費用増加の方向、補助事業で除雪機械更新も難しい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

その年の降雪状況での対応となり予算確保が難しい。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
継続的な予算の確保と除雪排雪業者の確保を図る。		市民生活の安定と地域産業の安定を図るため、除雪を早期に行い道路交通の確保を図る必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	